

# 岡山県の土地改良

## 岡山県土地改良事業団体連合会 創立60周年記念式典を開催

7月30日（月）、岡山県土地改良事業団体連合会は、創立60周年記念式典を岡山プラザホテルで開催。関係者約240名が参加した。

冒頭主催者を代表し、岡山県土地改良事業団体連合会の石井正弘会長が、7月5日から7日にかけての集中豪雨により発生した災害により、被災した方々へのお見舞いと、設立以来、県土連を支えていただいた関係各位への感謝の思いと今後の決意を述べた。

続いて、土地改良功労者表彰が執り行われ、県土連の元役員23名と会員11名に表彰状と記念品が授与され、受賞者を代表して辻騏一郎元県土連副会長（元落合町長）が謝辞を述べた。

その後、来賓の逢沢一郎衆議院議員、あべ俊子衆議院議員、池田道孝衆議院議員、片山虎之助参議院議員、進藤金日子参議院議員から祝辞があり、進藤議員からは全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長からのメッセージも併せて披露された。続いて、菊池善信岡山県副知事、坂井康宏中国四国農政局長、波多洋治岡山県議会副議長より祝辞が述べられた。



挨拶する石井正弘県土連会長



表彰された辻騏一郎氏



講演する増田寛也氏

式典に引き続き、記念講演会が開催され、元岩手県知事の増田寛也氏が「人口減少社会と地方創生」のテーマで、岡山県の人口統計データ等を図示しながら、これからの地方創生の課題等について講演した。

増田寛也氏プロフィール

1995年 4月 岩手県知事  
 2007年 4月 岩手県知事退任（3期）  
 2007年 8月 総務大臣（2008年9月まで）  
 現在 東京大学公共政策大学院客員教授  
 野村総合研究所顧問

## 土地改良功労者表彰

### ●県土連役員表彰

山 岡 治 喜	元 副会長理事	立 岡 脩 二	元 理事
辻 騏 一郎	元 副会長理事	秋 岡 毅	元 理事
重 森 計 己	元 副会長理事	宮 本 俊 朗	元 理事
河 島 建 一	元 副会長理事	奥 村 忠 夫	元 理事
高 杉 杜 雄	元 副会長常務理事	西 田 孝	元 理事
藤 井 保 治	元 副会長常務理事	高 谷 茂 男	元 理事
岡 本 信 吾	元 副会長常務理事	井 手 紘 一郎	元 理事
藤 本 道 生	元 理事	井 上 稔 朗	元 理事
下 山 敏 之	元 理事	安 東 美 孝	元 理事
深 井 正	元 理事	大 森 直 徳	前 理事
春 名 宏	元 理事	蜂 谷 昭	元 代表監事
土 井 博 義	元 理事		

(平成9年9月以降退任者)

### ●県土連役員表彰

木 村 惠 昭	元 邑久町長
田 邊 正 樹	前 美星土地改良区理事長
原 田 良 二	前 自井手土地改良区理事長
渡 辺 啓	前 香々美土地改良区理事長
山 本 順 平	前 勝間田土地改良区理事長
福 井 晴 樹	目木土地改良区理事長
石 本 惠 二	吉井川井堰土地改良区理事長
日 笠 瑛 十 郎	田邑土地改良区理事長
山 田 克 己	野介代土地改良区理事長
荒 砂 昭 男	追分池土地改良区理事長
寒 竹 壽	柵原町土地改良区理事長



記念講演会終了後に開催した懇談会の様子

# 平成30年7月豪雨災害状況

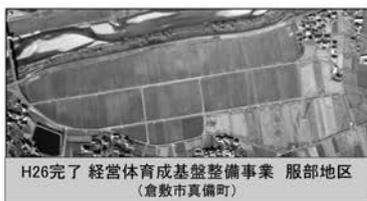
岡山県では、平成30年7月豪雨による河川の決壊などにより、60人を超える尊い人命が失われるとともに、住家被害は全半壊が7,900棟、床上浸水が2,900棟を超えるなど、これまでにほとんど経験したことのない規模の被害が発生しました。さらに、道路や河川、鉄道、農林水産業や商工業まで広範に被害が生じ、住民生活や経済活動も深刻な影響を受けた。

農業農村整備関係では、農地・農業用施設の被災箇所は6,500ヶ所余りで、151億円の被害金額となり、農地は土砂に埋まり、農道・水路・頭首

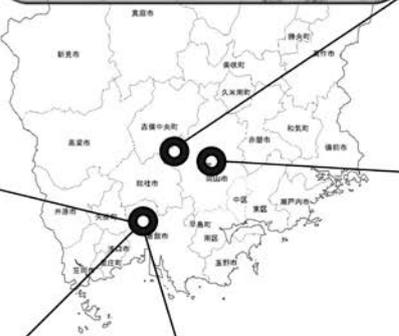
工等の農業用施設の破損、農業集落排水施設は冠水し、広範囲に被害を受けました。また、多数のため池の破損箇所があり、改修や廃止、防災重点ため池見直し等の課題が見えてきた。

県土連では平成30年7月豪雨災害の査定設計書作成に向けて、3県の土地改良事業団体連合会から職員の応援を頂き取り組んでいます。これからも関係機関と連携を図り、早期の復旧・復興に向け取り組んでまいりますので、今後とも皆様方より一層のご協力をよろしくお願ひします。

## 平成30年7月豪雨による岡山県の農業農村整備関係の被害状況



- 農地：3,856箇所 約45.2億円
  - 排水機：71箇所 約33.4億円
  - ため池：228箇所 約19.3億円
  - 頭首工：235箇所 約20.8億円
  - 農道：775箇所 約13.6億円 など
- 全県的に約151.4億円の被害 H30.8.22時点



(資料：岡山県農林水産部耕地課)

## 岡山県土地改良事業団体連合会 平成30年度第1回監事会及び平成29年度決算監査開催

7月17日(火)、岡山プラザホテルにおいて岡山県土地改良事業団体連合会平成30年度第1回監事会及び平成29年度決算監査を行った。

田窪行雄副会長常務理事の挨拶に続き、武久顕也代表監事(瀬戸内市長)、水嶋淳治監事(勝央町長)を議事録署名人に選任し議事に入った。

監事会においては、第1号議事から第3号議事までが承認された。

平成29年度決算監査においては、事務局より決算報告が行われた後、小橋浩二県土連参事が監査書記による検査結果を報告した。

平成29年度決算は8月27日(月)の役員会で審議された後、平成31年2月に行われる通常総会に提出される。

### 議事

第1号 平成30年度監査の実施について

[中 断] : 平成29年度決算監査

①平成29年度事業報告・収支決算及び財産目録説明

②事務局監査書記による検査報告

[監事会再開]

第2号 監査結果の今後の取扱いについて

第3号 理事と代表監事との契約について(報告)



## 岡山県土地改良事業団体連合会 平成30年度第1回役員会開催

8月27日(月)、岡山プラザホテルにおいて岡山県土地改良事業団体連合会平成30年度第1回役員会を開催した。

石井正弘会長(参議院議員)の開会挨拶に続き、田窪行雄副会長常務理事より平成29年度の業務報告ならびに今後の行事予定等について説明があった。

その後、黒田 晋理事(玉野市長)、定本一友理事(美咲町長)を議事録署名人に選任し、第1号議案、第2号議案について審議の結果、原案は承認された。

### 【議題】

議案第1号 平成29年度事業報告・収支決算及び財産目録について

議案第2号 平成30年度一般会計収支補正予算について



# 平成31年度農業農村整備事業関係予算確保に向けた要望活動 —岡山県土地改良事業団体連合会・岡山県農業農村整備事業推進協議会合同—

【平成30年8月7日（火）～8日（水）】

当初7月10、11日に行う予定としていたが、7月豪雨災害対応のため、延期して要望活動を1ヶ月遅れで岡山県土連田窪行雄副会長常務理事（岡山県農業農村整備事業推進協議会副会長）と小橋参事により、平成31年度農業農村整備事業関係予算確保に向けて行った。

要望先は財務省・農林水産省・自由民主党・県関係国会議員で、安定的・計画的な事業執行のため、特に当初予算の確保を要望した。

## 要望項目

1. 現場ニーズに応えられる農業農村整備予算の確保について
2. 国土強靱化の実現に向け、農村地域防災減災事業予算の確保について
3. 多面的機能支払交付金予算の確保について
4. 農業水利施設の長寿命化対策の推進に資する事業の延長等について

また、同日は、特例措置により料金が据え置かれている農事用電力の低圧分野の経過措置（H32年3月末まで）の継続についても、県関係国会議員及び電力会社に対し要請を行った。

## 要望項目

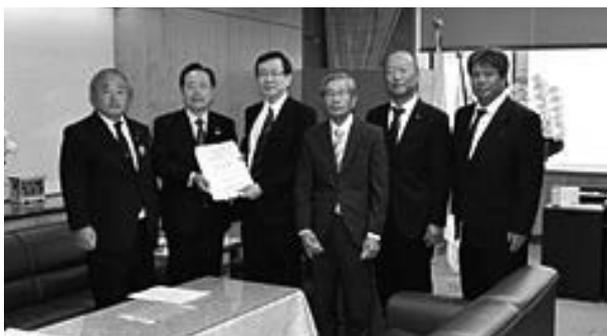
1. 農事用電力について、その利用実態や社会的・経済的意義等を踏まえ、低圧分野の経過措置の継続並びに既に自由化されている特別高圧、高圧分野を含めた農事用電力メニューの継続と料金の据え置きについて

【平成30年11月7日（水）～8日（木）】

要請者は石井正弘会長を先頭に、田窪行雄副会長常務理事、牛窓町土地改良区神宝正行理事長、湯野土地改良区川上修一理事長、JA岡山岩谷秀樹瀬戸内営農センター長、岡山県から細川信佳耕地課長にも参加をいただき、総勢9名で財務省、農林水産省、総務省、自由民主党、県関係国会議員へ要望活動を行った。

夏の要望に続き、現場ニーズに応えられる農業農村整備予算の確保を始め4項目を要望した。国営吉井川下流地区の受益地である牛窓町地域での露地野菜（白菜・キャベツ）複合経営や久米南町山手地区（ピオーネ）の事例を販売額や生産者の若返りデータを示しながら事業効果発現を強く説明した。

また、岡山県を襲った7月豪雨災害を踏まえ、国土強靱化の実現に向けたため池の防災減災への財政措置（起債の適用や充実）について、総務省へも強く要望した。



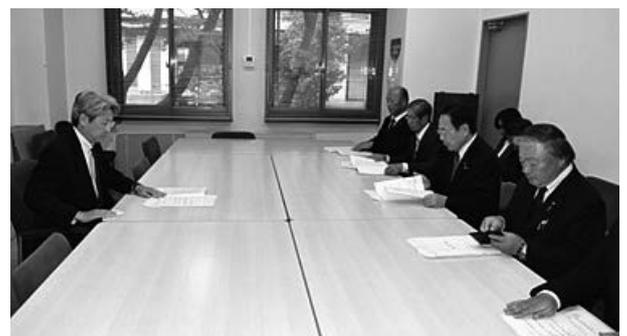
安田充総務事務次官【総務省】



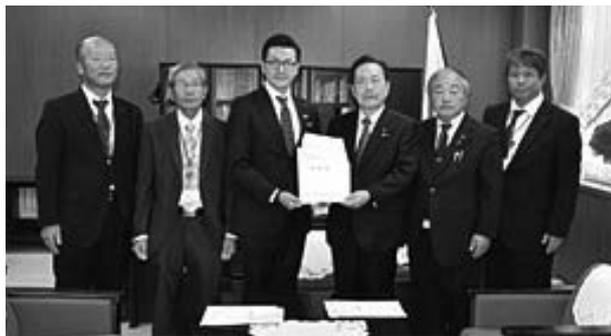
林崎理自治財政局長【総務省】



渡辺美知太郎財務大臣政務官【財務省】



阪田渉主計局次長【財務省】



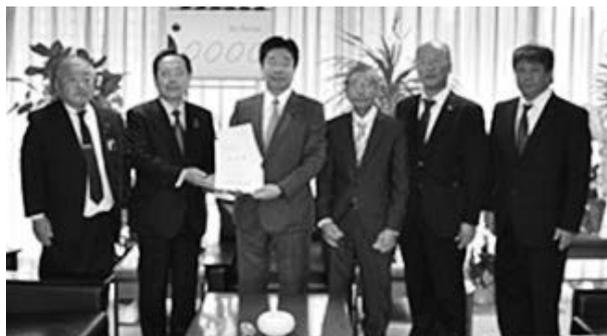
濱村進農林水産大臣政務官【農林水産省】



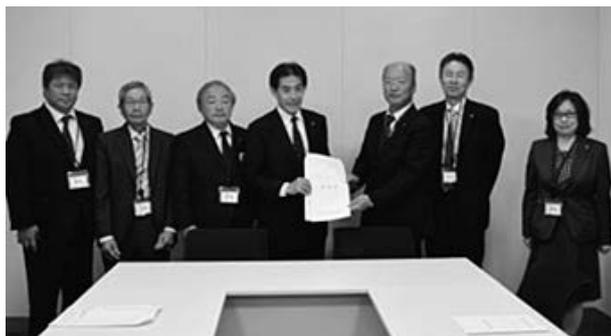
太田豊彦農村振興局次長【農林水産省】



二階俊博幹事長



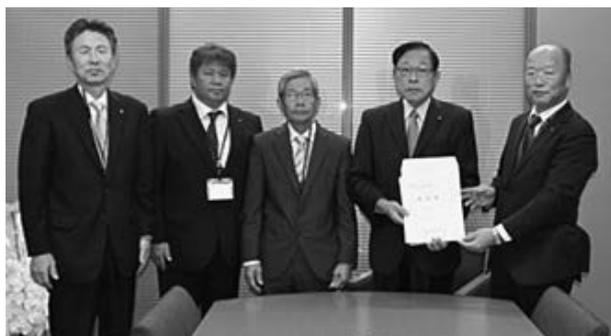
加藤勝信総務会長



逢沢一郎衆議院議員



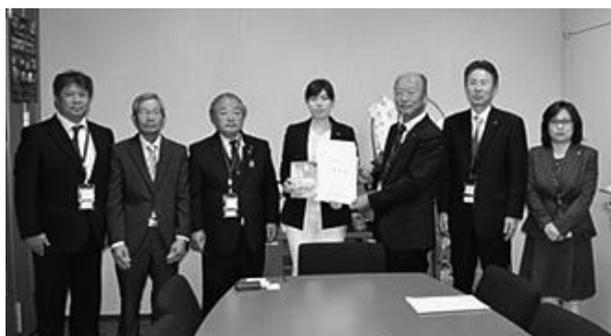
あべ俊子衆議院議員



池田道孝衆議院議員



谷合正明参議院議員



小野田紀美参議院議員



進藤金日子参議院議員

# 『先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に 水土里の絆 復興の歩み』 第41回全国土地改良大会 宮城大会

10月16日（火）、第41回全国土地改良大会宮城大会が宮城郡利府町の宮城県総合運動公園（グランディ21）で開催され、大会テーマ『先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に 水土里の絆 復興の歩み』の下、全国から約6,000名の土地改良関係者が参集し、岡山県からは石井正弘岡山県土連会長をはじめ34名が参加した。

伊藤康志宮城県土連会長の開催県挨拶に始まり、主催者を代表し、二階俊博全土連会長が「本年度は、補正予算を含め、大幅削減前を上回る予算を確保することが出来た。土地改良は、着実に前進し、明るくなってきている。これも偏に“闘う土地改良”の旗印の下、組織一丸となって闘った結果である。来年度は、土地改良にとって、2年続けて改正された新しい土地改良法を基軸に、新たな展開を図る大きな節目の年となる。この年を爽りあるものとするためには、やはり『闘って行く』。前進のためにはこれしかない。」と挨拶した。その後、村井嘉浩宮城県知事の歓迎のことばに続いて、小里泰弘農林水産副大臣、小野寺五典衆議院議員、進藤金日子都道府県土連会長会議顧問が来賓祝辞を述べた。故野中廣務前全土連会長の長年の功績を称え、感謝状の贈呈が行われた。

土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全土連会長表彰46名に表彰状と記念品が授与され、岡



山県からは大森直徳前和気町長が全土連会長表彰を受賞した。その後、村井嘉浩宮城県知事と室本隆司農林水産省農村振興局長による基調講演、宮崎雅夫都道府県土連会長会議顧問他による基調報告が行われ、優良地区事例紹介をした後、宮城県農業高等学校の学生2名により大会宣言が高らかに読み上げられた。最後に次期開催県である岐阜県土地改良事業団体連合会へ大会旗が引き継がれ、式典の幕を閉じた。



表彰された大森氏

翌日の事業視察は7コースに分かれ、農地・農業用施設の復旧状況や圃場の大区画化、世界農業遺産・世界かんがい施設遺産などを視察、また宮城の歴史・文化にもふれた。

## 大会宣言

私たちの住む宮城県は、東北地方の中にあっては比較的温暖な気候で、東に広がる太平洋と西にそびえる奥羽山脈に挟まれ、仙台平野や大崎耕土などに広大な水田が広がる、四季折々の豊富な食材にも恵まれた、魅力あふれる“ふるさと”です。

これからの豊かな農地は、仙台藩祖 伊達政宗公など、先人の情熱と懸命な努力の賜物であり、この美しい農業・農村を受け継いだ私たちは、その恩恵を大いに享受してきました。

今、全国の農村では高齢化や人口減少による離農が進み、耕作放棄地が増加し、農業水利施設の老朽化など、農業・農村を取り巻く状況は大変厳しいものとなっています。このまま放置するならば、祖先から受け継いだ財産を未来に遺すことなど到底できるものではありません。私たちが受けた恩恵はそのまま未来の人々が受けられるよう、私たちは男性も女性も、その持てる知恵と能力を結集し、このような課題にしっかりと対応していかなければなりません。私たちが受け継いだこの“ふるさと”を未来の人々に引き渡すことは、私たちの責務なのです。

平成23年3月11日発生した地震と大津波による東日本大震災は、沿岸の農地や農業用施設にも未曾有の被害をもたらし、私たちの生活や地域の繋がりをすっかり打ち壊してしまいました。

しかし、全国の皆様からのたくさんの支援に勇気づけられ、私たちは立ち上がり、全国の皆様との強い絆を信じ、自らの力で、自らの道をひらくという強い気持ちで、これまで歩いてきました。

東日本大震災からの復興は未だ道半ばです。そして全国各地で発生した地震や豪雨によって被災された方々は、元の生活や絆を取り戻そうと今も懸命の努力を続けています。

ここに集う私たちは、東日本大震災を始めとする災害からの早期復旧・復興を実現するとともに、農業農村整備事業の着実な推進により、先人たちの叡智の結集であるかけがえのない農業・農村を守り、育み、「水（みず）」と「土（つち）」と「里（さと）」をしっかりとして未来に引き継いでいくことを、ここ、“伊達の地”宮城から高らかに宣言します。

# 農業農村整備事業地域推進会議を開催

主催：岡山県土地改良事業団体連合会

岡山県土地改良事業団体連合会は、農業農村整備に係る最新情報の提供と意見交換を目的とした農業農村整備事業地域推進会議を開催。10月26日の備前会場を皮切りに県下3会場で、市町村長をはじめ、市町村職員、改良区の理事長並びに役職員、岡山県の農業農村整備事業関係者等あわせて210名の参加を得た。



会議は、(1)土地改良法改正等について(2)岡山県の農業農村整備事業についての2項目を議題に、中国四国農政局、岡山県農林水産部より情報提供が行われた。

質疑応答では、土地改良法改正に関連した事務処理、土地改良施設評価や、7月豪雨災害を踏まえ、ため池の管理保全等、幅広く熱心に行なわれた。参加者のアンケートにも、「土地改良法改正に伴う

諸規程の改正等、土地改良区での具体的な取組について更に指導をお願いしたい」などの記入が多く寄せられた。例年にも増して、情報交換と交流の場として活気のある会議となった。

議 題	講 師	
土地改良法改正等について	(備前会場) 中国四国農政局 農村振興部 土地改良管理課長	山田 敏久
	(備中会場) 中国四国農政局 農村振興部 土地改良管理課長	山田 敏久
	(美作会場) 中国四国農政局 農村振興部土地改良管理課 課長補佐	中村 克治
岡山県の農業農村整備事業について	(備前会場) 岡山県 農林水産部 参与	堀田 忠弘
	(備中会場) 岡山県 農林水産部 耕地課長	細川 信佳
	(美作会場) 岡山県 農林水産部 農村振興課長	板野 豊彦

## 参加者集計表

開催日	会 場	参加人数内訳				
		市町村	改良区	岡山県	県土連	合 計
10月26日(金)	(備前) サンピーチ OKAYAMA	11	35	10	14	70
11月2日(金)	(美作) 津山鶴山ホテル	12	47	8	12	79
11月16日(金)	(備中) アパホテル倉敷駅前店	9	30	11	11	61
合 計		32	112	29	37	210

# 農業農村整備の集い

## ―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―

11月14日（水）、「農業農村整備の集い―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―」（主催：全国土地改良事業団体連合会、都道府県土地改良事業団体連合会）が東京都千代田区のシェーンバハ・サポーで開催され、駆け付けた多数の国会議員を含め、全国から1,300名を超える土地改良関係者が参加した。

はじめに、二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長が主催者を代表して挨拶し、「国民の食糧を確保するために日夜頑張っている農家の方々に応えるべく、『闘う土地改良』のもと、予算確保のために土地改良関係者が一致団結し取り組んでいく。関係者皆様方の協力をお願いしたい」と予算獲得へ強い意欲を示した。

次に、来賓として出席された吉川貴盛農林水産大臣、塩谷立衆議院議員（農林・食料戦略調査会長）、井上義久衆議院議員（公明党副代表）、進藤金日子参議院議員（都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問）より祝辞が述べられた後、宮



崎まさお都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問より情勢報告があった。続いて全土連より「基盤整備で農業の生産性を飛躍的に向上させるとともに地域で働く女性の活躍を推進している事例」について発表があった。

終わりに「平成31年度当初予算の確保」など5項目の要請書が全会一致で採択され、出席者一同、「闘う土地改良」のスローガンのもと、“ガンバロウ”三唱で会を閉会した。

### 要 請 書 (抜粋)

全国の水土里ネットは、これまで培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンの下、次の事項の実現を国に強く要請する。

#### 記

- 一 農業競争力の強化や国土強靱化を図るため、昨年9月に施行された改正土地改良法を積極的に活用した事業制度の現場へのより一層の普及を図ること
- 二 本年6月に成立した改正土地改良法の適切な実施を図るため、その啓発普及に努めるとともに、土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を推進すること
- 三 農業・農村が有する多面的機能をしっかりと次世代に引き継ぐため、農地や水路、農道の保全活動等が適切に実施できるよう、多面的機能支払制度への十分な支援を行うこと
- 四 これらの事業を円滑に行うため、平成31年度当初予算では、現場のニーズに十分応えられるよう、概算要求の満額確保を行うとともに、十分な地方財政措置を講ずること
- 五 災害で被災した農地・農業用施設の早期復旧を図るため、災害査定手続きの簡素化などにより、災害復旧事業の早期着工を促進するとともに、補正予算を含め必要な予算を早急かつ確実に確保すること

平成30年11月14日

全国土地改良事業団体連合会  
都道府県土地改良事業団体連合会

## 平成30年度 土地改良区体制強化事業 財務・会計実践向上研修開催

8月9日(木) ピュアリティまきび(岡山市北区下石井)において、平成30年度土地改良区体制強化事業財務・会計実践向上研修を開催した。

土地改良法等の一部を改正する法律(平成30年6月8日公布)により、土地改良区は平成34年度から決算関係書類として現行の事業報告書、収支決算書及び財産目録に加えて貸借対照表を作成することが義務付けられており、土地改良区の財務管理強化が期待されている。

当日は土地改良区をはじめ、県、市、県土連から43名が参加した。

研修では、貸借対照表作成に必要な複式簿記に関する基礎的な知識をはじめ、導入の背景や必要性、日常携わる実務的な処理や決算処理について説明が行われ、仕訳の演習問題の時間も設けられた。

また、最後に複式簿記会計ソフトの「水土里ネット会計」システムを使った処理の様子が紹介された。



現在、全国的に複式簿記に移行している土地改良区はごく少数で、岡山県内でも同じ状況である。

多くの土地改良区においては、土地改良施設の老朽化が進むなか、将来の更新費用の積立が大きな課題となっている。施設の資産評価を適切に行うと共に、複式簿記をうまく活用することにより、土地改良区の財政状況を客観的に把握し、計画的な施設補修と安定した運営を継続することが求められている。

課目	研修内容	時間	講師
	開 会	10:00	岡山県土連 副会長常務理事 田窪行雄
土地改良区の会計処理について	土地改良法の改正に伴う 複式簿記導入について	10:05 ~ 11:00	岡山県耕地課 土地改良指導班 内藤主任
	土地改良区会計処理における留意点		
複式簿記について	単式簿記との違い	11:00 ~ 12:00	岡山県土連 総務部 荒木部長
	複式簿記の基本事項		
	休 憩	12:00 ~ 13:00	
土地改良区複式簿記の概要	勘定科目の設定と仕訳	13:00 ~ 15:00	全土連 経理部 金内主任
	資産評価・減価償却		
	決算に必要な財務諸表の作成		
	休 憩	15:00 ~ 15:10	
複式簿記ソフトによる会計処理	「水土里ネット会計」システムによる 会計管理の紹介	15:10 ~ 16:30	株式会社 NID・MI R&D室 石毛
	質疑応答	16:30 ~	
	閉 会		岡山県土連

## 農業農村整備事業等に関する説明会開催

10月5日（金）ピュアリティまきび（岡山市北区下石井）において、岡山県主催により農業農村整備事業等に関する説明会が開催された。

冒頭、岡山県細川耕地課長から、平成30年7月豪雨災害から3ヶ月が経過したが、県としても早期復旧に全力で取り組んでいるとの挨拶があった。

第1部では、農林水産省農村振興局宮崎防災課長、目徳農地資源課長補佐から平成31年度予算では対前年度比122%を要求しており、災害復興に向けた予算も準備しているとの説明があった。

引き続き第2部では、主に平成31年4月1日施

行となる改正土地改良法についての説明が行われ、農林水産省農村振興局高嶋土地改良企画課団体指導専門官からは土地改良区の組合員、役員、総代会、財務会計制度等の改正と規程例について、福田土地改良企画課推進第2係長からは土地改良施設の資産評価マニュアル案について具体的な説明があった。

説明会には、農林水産省、中国四国農政局、岡山県、市町村、土地改良区、岡山県土連より約120名が参加したが、特に土地改良区からは法改正に伴う質問が多く投げかけられていた。

### 農業農村整備事業等に関する説明会

#### 【第1部】

- (1) 開 会
- (2) 挨拶
- (3) 内容説明
  - 1) 平成31年度当初予算概算要求の概要及び新規・拡充事業等
  - 2) 農業農村整備事業の効果と事例
- (4) 質疑応答
- (5) 閉 会

#### 【第2部】

- (1) 開会・挨拶
- (2) 内容説明
  - 1) 平成31年度概算要求について
  - 2) 改正土地改良法について
  - 3) 資産評価マニュアル案について
- (3) 質疑応答
- (4) 閉 会

## 平成30年秋の叙勲・褒章

平成30年秋の叙勲が平成30年11月3日付けで発令され、土地改良関係者では次の方が受章された。

### ■旭日双光章■ 草地 博（前円城土地改良区理事長）

前円城土地改良区理事長の草地 博氏（77）が、自動車整備事業振興の功績が認められ、旭日双光章を受章された。



## “おかやまマラソン 2018” で干拓地と改良区をPR ー高崎土地改良区ー

今年で4回目を迎え、「走る、見る、支える」を合言葉に県民の絆を深める一大イベント、中四国最大規模の都市型マラソン大会「おかやまマラソン2018」が11月11日（日）に開催され、全国から集まった1万6,547人のランナーが、気温13.5℃、晴れ、風速0.1m/s（8時45分、マラソン・ファンランスタート時）というマラソンにはやや暖かいコンディションの中、晩秋の岡山路を駆け抜けた。

コースは、岡山県総合グランド内のジップアリーナ岡山前をスタートし、同シティライトスタジアムをフィニッシュとする日本陸連公認コースで、岡山のメインストリートである桃太郎大通りや、眼下に児島湾を望む絶景の岡南大橋、岡山城・後



楽園を眺めながら走る旭川沿いなど、市内の名所をぐるりと周るレイアウトとなっている。

コースの折り返し地点である西高崎付近では、高崎土地改良区の役職員や組合員が、児島湾干拓の歴史や土地改良区をPRするとともに、ランナーを応援するため、のぼり旗を前日から設置。当日は大きな声援と拍手を送り、折り返しで踏ん張りどころのランナーの背中を押していた。



### 【高崎土地改良区】

昭和27年7月21日設立

地区面積：276ha

組合員数：406名

岡山市南区西高崎

理事長：岡田 敏男



岡山県の土地改良 題字:石井正弘書 第595号 平成30年12月25日発行

発行所●岡山県土地改良事業団体連合会 〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目3番7号 県土連ビル  
☎086-225-0921 fax086-226-0068  
総務部 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館3F  
☎086-207-2200 fax086-207-2202 e-mail:info@okadoren.or.jp http://www.okadoren.or.jp  
事業部 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館2F  
☎086-273-2110 fax086-272-3937  
事業部津山 〒709-4603 津山市中北下1300 津山市久米支所2F  
☎0868-57-7661 fax0868-57-7664

